

# お知らせ

<同時資料提供先> 島根県政記者会



国土を整え、全力で備える  
国土交通省中国地方整備局  
松江国道事務所  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and  
Tourism Chugoku Regional Development Bureau,  
Matsue National Highway office

令和6年7月31日

## 【E9】山陰道 大田・静間道路、静間・仁摩道路 開通3ヶ月後の状況をお知らせします！

令和6年3月9日（土）に開通した【E9】山陰道 大田・静間道路と静間・仁摩道路（延長12.9km）について、開通して3ヶ月が経ちました。整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

### 《 概要 》

#### ○交通量の増加

⇒国道9号と山陰道の断面交通量が1～2割増加！

#### ○出雲市方面からの観光客が増加

⇒道の駅ごいせ仁摩へ出雲市方面および広島方面からの利用客が増加！

#### ○地域の物流を支援

⇒浜田港から島根県東部へ国際標準コンテナ車走行で物流活動を支援！

#### ○救急搬送活動の支援

⇒出雲市の第三次医療機関へ  
一分一秒でも早く迅速な搬送を支援！

#### ○安全・安心の確保

⇒国道9号の急カーブ、急勾配区間を回避し、国道9号の死傷事故ゼロ！

至 松江市



至 江津市

大田・静間道路（大田中央・三瓶山IC付近）

### 問い合わせ先

■国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長（改築） 今田 修（いまだ おさむ）

【担当】 計画課長 水田 雄士（みずた ゆうじ）

TEL: (0852) 26-2131（代表）

松江国道事務所HP: <https://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

※松江国道事務所では、X（旧twitter）による情報発信を行っています。

X: [https://twitter.com/road\\_matsue](https://twitter.com/road_matsue)

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ



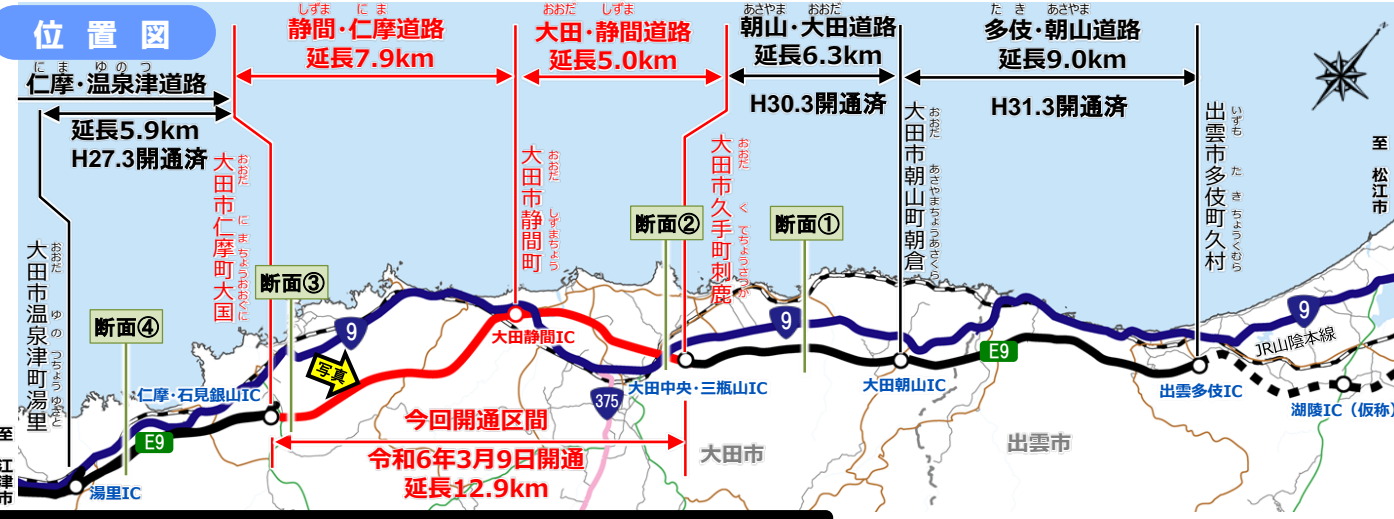
松江国道事務所  
HP



松江国道事務所  
X（旧twitter）

# 山陰道 大田・静間道路、静間・仁摩道路の交通状況

- 令和6年3月9日（土）に開通した山陰道 大田・静間道路、静間・仁摩道路は、断面交通量の3～7割が山陰道を利用しています。
- 国道9号と山陰道を合計した断面交通量も1割～2割増加しています。

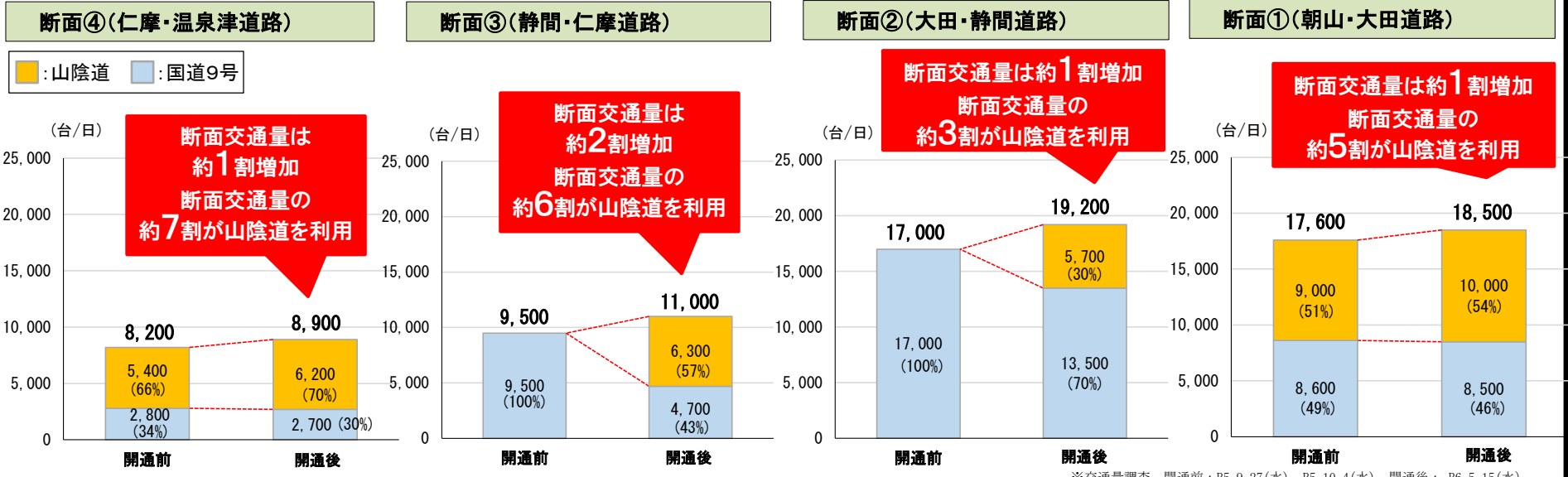


凡例

今回開通区間	主要地方道
高速道路（開通済み）	一般県道
高速道路（事業中）	その他道路
一般国道（直轄）	
一般国道（補助）	

調査箇所断面

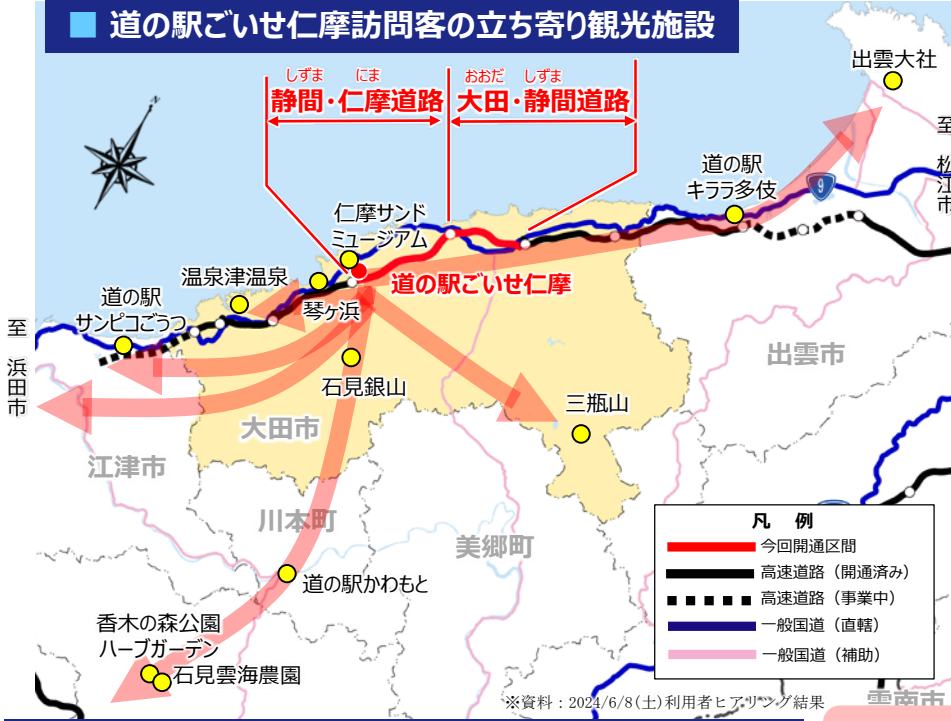
大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通前後における交通量の比較



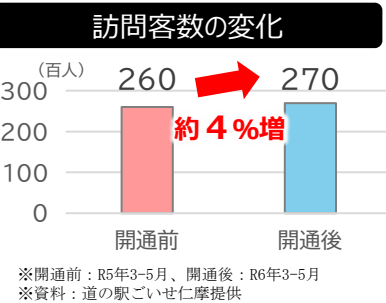
# 山陰道開通により出雲方面からの観光客が増加！

- 大田市には、世界遺産である石見銀山をはじめ、年間70万人が訪れる三瓶山や道の駅ごいせ仁摩等豊富な観光資源も多く立地しています。また、出雲市には県内随一の観光地である出雲大社や道の駅キララ多伎などが立地しています。
- 大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通により、道の駅ごいせ仁摩では、特に出雲市方面や広島方面からの利用客が増加し、周辺の観光地へ立ち寄る観光客が増加しています。

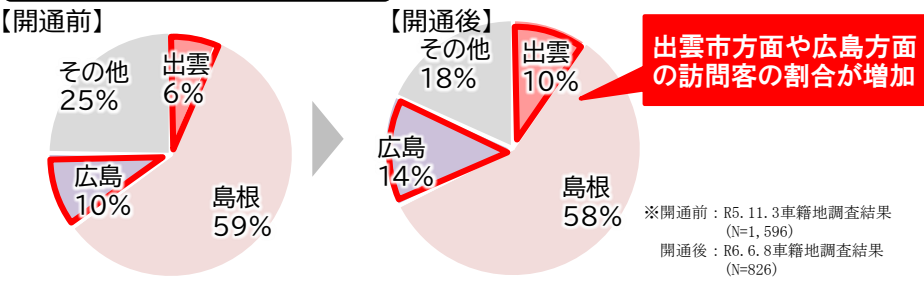
## 道の駅ごいせ仁摩訪問客の立ち寄り観光施設



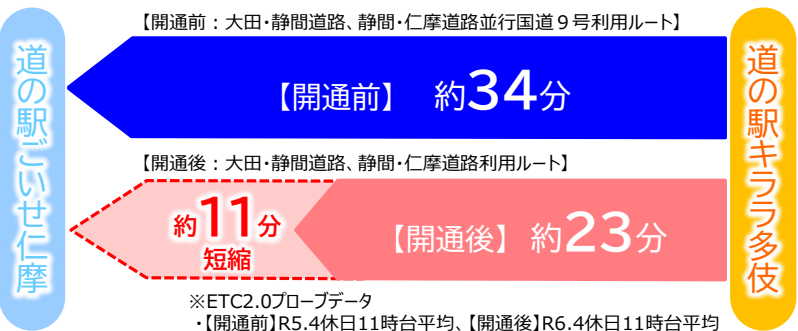
## 道の駅ごいせ仁摩の訪問客数・車籍地の変化



## 訪問客の車籍地の変化



## 道の駅キララ多伎から道の駅ごいせ仁摩への所要時間



## <観光客・観光地の声>

＜観光客の声＞ 道の駅キララ多伎や道の駅ごいせ仁摩等の道の駅巡りをしている。また、島根県は東西に長いので**時間が短縮**して、以前より浜田市から**出雲市に買い物や観光に行こうと思うようになった**。(50代男性)  
 (R6年6月 道の駅ごいせ仁摩利用者ヒアリング調査結果)

＜観光客の声＞ 松江市、出雲市、江津市の**友人と集まりやすくなり**、観光がしやすくなった。(30~40代女性)  
 (R6年6月 道の駅ごいせ仁摩利用者ヒアリング調査結果)

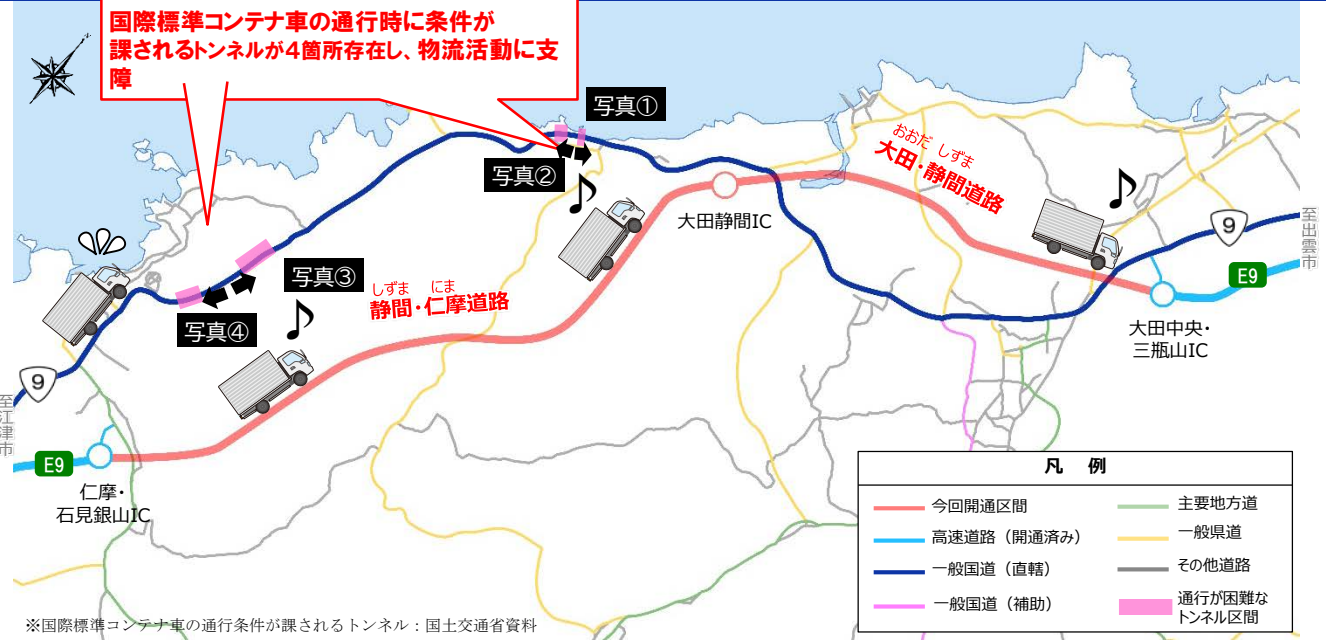
＜観光地の声＞ 山陰道が開通し、**出雲市方面からのお客が増え、来客数は増加傾向**にある。山陰道ができて、取り扱う特産品の増加や生鮮食品が売りやすくなった。  
 (R6年6月 道の駅ごいせ仁摩ヒアリング調査結果)



# 地域の物流活動を支援しています！

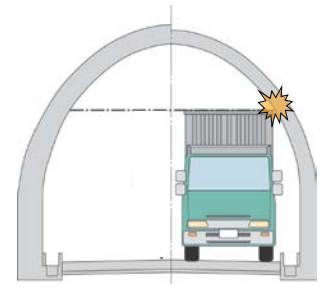
- 大田・静間道路、静間・仁摩道路に並行する国道9号では、国際標準コンテナ車の通行時に、通行条件が課されたトンネルが複数箇所存在しており、浜田港から出雲市内の工業団地に搬送する際、先導車・後方車無しでは、通行出来ない状況でした。
- 大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通に伴い、国際標準コンテナ車の通行時に、通行条件が課される国道9号のトンネルを回避でき、円滑な物流活動が可能となります。

## ■山陰道開通による国道9号の国際標準コンテナ車の通行条件が課されているトンネルの回避



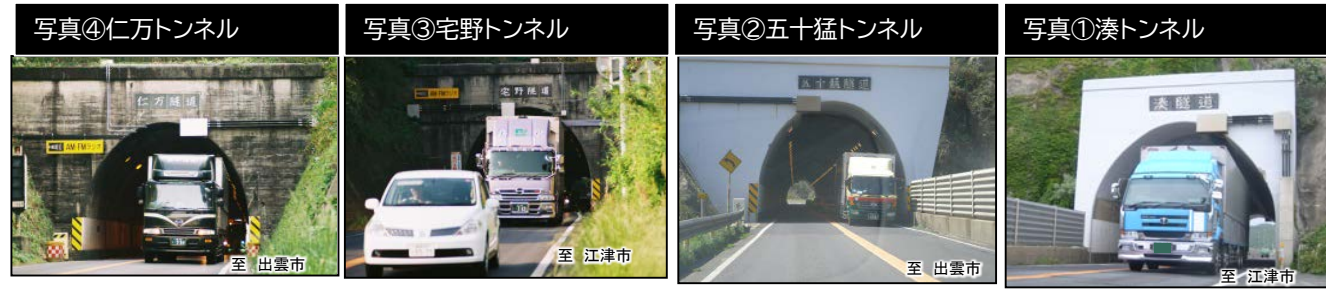
<大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前>

**国際標準コンテナ車が条件付きでなければ通行ができないトンネルが国道9号で4箇所存在!!**



<大田・静間道路、静間・仁摩道路開通後>

**大田・静間道路、静間・仁摩道路の利用により、国際標準コンテナ車が円滑に走行**



➡ いずれのトンネルも国際標準コンテナ車の通行条件が課されている

# 救急搬送活動を支援しています！

- 大田市には第三次救急医療機関がないことから、重篤疾患の患者等は出雲市中心部の第三次救急医療機関に年間約50件搬送しています。これまで、搬送時間や急カーブなどによる搬送時の横揺れ等が患者への負担となっていました。
- 大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通により、出雲市方面へのアクセス性が向上し、所要時間は約11分短縮。信号停止や急カーブがなく、線形が良いので、搬送による患者への負担も軽減するなど、救急搬送活動を支援しています。

## ■ 第三次救急医療機関への救急搬送経路



## ■ 緊急走行する救急車両(大田・静間道路)



## ■ 救急搬送ルートにおける所要時間の変化

大田市温泉津支所

【開通前：大田・静間道路、静間・仁摩道路並行国道9号利用ルート】

【開通前】 約64分

【開通後：大田・静間道路、静間・仁摩道路利用ルート】

【開通後】 約53分

約11分  
短縮

島根大学医学部  
附属病院

※ETC2.0プロブデータ  
【開通前】R5.4平日7-18時台平均、【開通後】R6.4平日7-18時台平均

## <消防署職員の声>

- 山陰道の整備により、出雲市内への第三次医療機関への搬送、現場到着までの時間短縮が行われたと実感しています。
- また、山陰道は急カーブがないため、患者さんの負担軽減や救急車内での救命処置が安定的にできます。
- 特に脳神経や循環器に関する緊急搬送は出雲市内の三次医療機関へ搬送することが多いですが、一分一秒でも早く安静に搬送する必要があるため、山陰道整備は救急搬送上、大変助かっています。



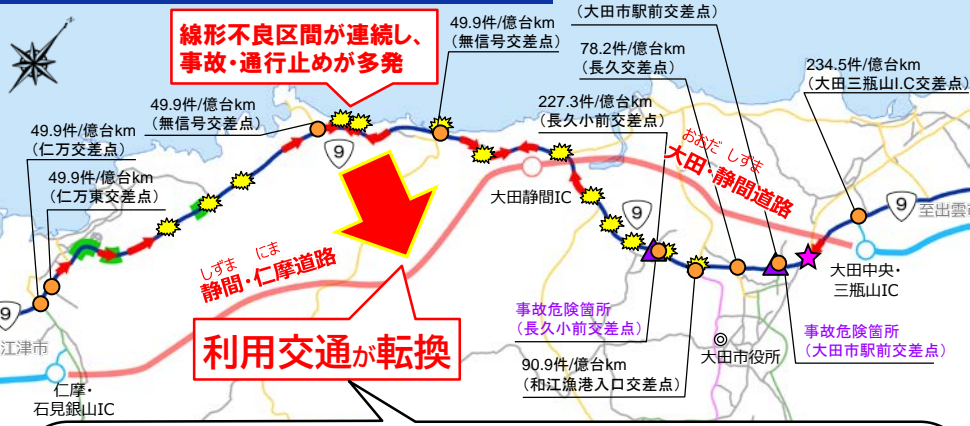
(R6年6月 大田市消防本部ヒアリング)



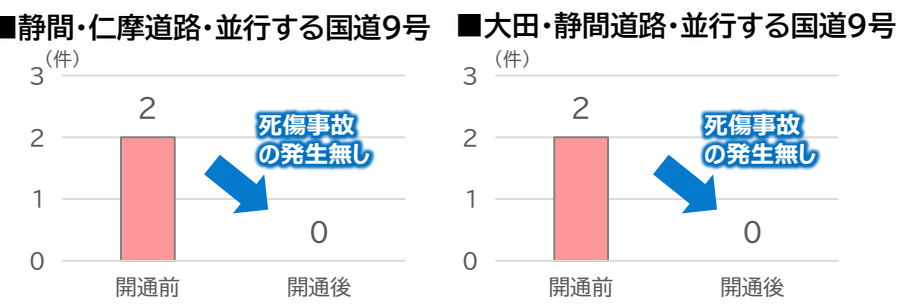
# 地域における安全・安心の確保を支援しています！

- 大田・静間道路、静間・仁摩道路に並行する国道9号では、死傷事故率が全国平均を超過する交差点、事故危険箇所、急カーブや急勾配などの道路構造に課題のある区間が連続しています。
- 大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通に伴う利用交通の転換により、国道9号の事故危険箇所を回避でき、並行区間である国道9号の死傷事故件数は0件（R6年5月末時点）となっています。
- 大田・静間道路、静間・仁摩道路の利用により、快適で安全な走行が可能となっています。

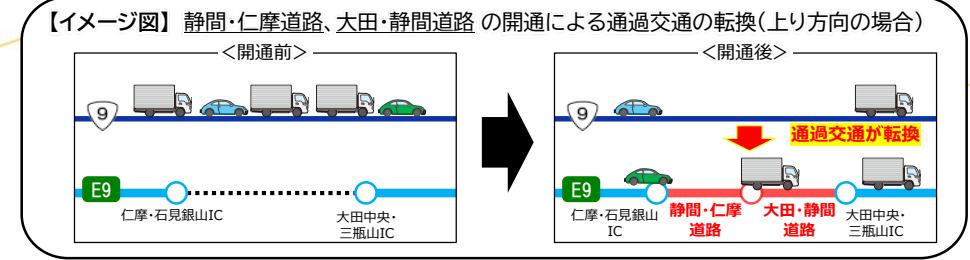
## 山陰道開通による通過交通の転換



## 死傷事故件数の変化



資料：島根県大田警察署資料（開通前：R5.3.9～R5.5.31 開通後：R6.3.9～R6.5.31）



- 急カーブ区間（平面曲線半径：R<150m）
- 急勾配区間（縦断勾配：i>5%）※矢印方向に登坂
- 死傷事故率全国平均以上（R1～R4年平均）
- ▲ 事故危険箇所（R4年3月指定）
- ★ 死亡事故発生箇所（R1～R4年実績）
- ☀ 事故等による全面通行止め箇所（H25～R4年度実績）

凡 例	
— 今回開通区間	— 主要地方道
— 高速道路（開通済み）	— 一般県道
— 一般国道（直轄）	— その他道路
— 一般国道（補助）	

※算出根拠  
 ・急カーブ、急勾配区間：道路台帳  
 ・死傷事故率、死亡事故発生箇所：ITARDAデータ  
 ※全国平均値はR3年値（47.0件/億台km）を適用  
 ・事故危険箇所：国交省公表資料  
 ・全面通行止め箇所：道路管理者提供データ

## 地域の声



＜道路利用者の声＞

- 大田・静間道路、静間・仁摩道路開通により、国道9号が混まなくなり、安全安心に通行できるようになった。

（R6年6月 道の駅ごいせ仁摩でのヒアリング調査結果）

## ＜警察の声＞

- これまで国道9号では事故が多発していたが、通過交通による車両が高速道路に転換したことで、安全性が向上したように感じる。特に対向車の減少により、沿道施設等へスムーズに右折できることにより、追突事故減少が期待できる。

（R6年6月 大田警察署ヒアリング調査結果）

